

# 和解をもたらす人づくり

## 平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー 「シラバス（プログラム案内）」（第2期）（改訂版）

私たちの生きる社会には、親子間や職場の人間関係、地域コミュニティの住民関係や国家間などで、意見や見解の相違により生まれる衝突や問題など、対立<sup>1</sup>に起因する争いや葛藤がさまざまに存在する。それらの争いや対立に対し、力による抑圧と支配、多数派による少数派の排除、加害者への厳罰、また武力（暴力）に頼る解決を試みる場面が多くみられるが、力に訴える解決方法は、表面的、一時的な解決をもたらしたとしても、和解後の関係性は脆弱で、新たな対立が起こりうる。なぜなら、力に頼る解決方法では対立の当事者の要求が満たされず、関係性が修復されなかったり、個々の尊厳が回復されなかったりするからだ。

しかし、対立は生きていく上では誰しもが必ず経験する。そして、対立は憎まれるべきものや避けるべきものではなく、対立をどのように変容させるかによっては、互いの発展や成長が期待されるものである。さまざまな対立を目前に、私たちはどのような行動、手法によって対立から和解へと導いていくのか。そして、力に頼らない和解の手法で社会に平和をもたらす人材をどのように育成するのか。

WCRP は、諸宗教者が集う連合体として 1970 年の創立以来、世界 90 か国以上にわたる国際諸宗教ネットワークとして諸宗教間の対話・協力を通じた紛争和解や平和教育などの平和構築活動を行ってきた。暴力や力による解決でなく、対話による問題解決／紛争転換や、一人ひとりのいのちの尊厳に重きを置く対立変容は、宗教者にとっても重要な命題である。

WCRP 日本委員会では、これまで構築してきた国内外の宗教界、学术界、市民社会との連携を通し、セミナーごとに和解や調停のプロフェッショナル・経験者を招き、理論としての平和創造だけではなく、対立という痛みからより高い次元へ変容していくプロセスを実体験から学び自分のものとしていく。

### ○ 対象者

「和解」「平和構築」「ファシリテーション」に関心があり、実践したいと考え

---

<sup>1</sup>ここでいう対立とは、「2人またはそれ以上の人々の間で起こる口論または意見の不一致」を意味する（ERIC 国際理解教育センターより）。

ている宗教者、青年、大学生（院生）、NGO 関係者、市民活動関係者など

#### ○ 目的

親子間、職場の人間関係や地域コミュニティなどの身近な問題から、国際的な対立に対し、暴力や力による解決ではなく、対話による問題解決方法や対立変容の手法を学び、いのちの尊厳や靈性に重きを置く和解のあり方を考える。また、さまざまなコミュニティとの対話の実践や平和構築にむけた取り組みを、フィールドワークを通して学び、参加者がそれぞれ置かれている環境で、積極的に平和創造への行動につなげていくことを目的とする。

#### ○ 到達目標

- ・対立の特性と概念について学び、対立から和解に至るプロセスと必要な要素について理解することができる
- ・非暴力にもとづく対立解決方法を理解することができる
- ・異なる意見や見方を受容し、傾聴と対話のスキルを身に付けることができる
- ・調停者としての基礎を学ぶことができる
- ・ワークショップを立案し、ファシリテーターとして実践ができる
- ・国内外の諸問題について学び、自ら考え、行動できる
- ・国際的視野を持ち、時代の流れと現代における要請を理解することができる

#### ○ キーワード（コアコンセプト）

平和、諸宗教、多様性、和解、共生、傾聴、対話、修復的正義<sup>2</sup>、調停

#### ○ セミナーの手法

講義と演習、受講生による討論を組み合わせた双方向授業（アクティブ・ラーニング）。毎回フィールドワークを設け、現場での実際的なトレーニングや学習を行う。また、調停のロールプレイングや紛争のシミュレーションを通じた体験学習を行う。セミナーの前後で課題を行い、学びを深める。

#### フィールドワーク場所の例（第1期セミナー実績）

神戸市内（諸宗教施設）、熊本県水俣市（水俣病に関連する場所）、京都市内（同和問題地区）、福島県（復興公営住宅でのワークショップ開催、浪江町）、フィリピン（ミンダナオ島、マニラ）、聖路加国際病院（チャイルドライフ

---

<sup>2</sup> 修復的正義は Restorative Justice の日本語訳で、修復的司法とも呼ばれる。修復的正義は、西洋に由来する司法制度と司法正義が、被害者、加害者、コミュニティの人々のニーズに十分に答えていない、もしくは司法プロセスが和解や平和ではなく社会的損傷や対立を深める場合があるという課題を超えようとする試みのことを指し、「不正義に対しての、非暴力的な平和手段による解決への取り組み」ともいわれる（ハワード・ゼア,2008）

スペシャリストの取り組み) など

○ 講師

和解・平和学の講座を持つ大学機関や、平和問題に取り組む国内外の宗教者、宗教団体、学者、NGO、紛争当事者等と連携し、毎回ゲスト講師を迎える。

○ セミナー期間

2020年6月～2021年11月

○ 修了課題

セミナー終了時には、「MYアクションプラン」としてワークショップの企画、立案を行う。

○ 修了証の授与

6回以上参加した人（全セミナーの3分の2以上出席した人）に、修了証が送られる。

○ セミナー内容

(敬称略)

回数	月日	授業テーマ
2020年度		
1	6月 13日(土)～ 14日(日) 場所：神戸	<b>「違いをみつめる」</b> 目的：多様性を理解し、違いを活かす方法を学ぶ 目標： ① 多様な宗教、文化、社会の実体験を通して学び、違いや共通点を知る ② 対立の概念と特性を理解する ③ 和解に必要な要素を理解する ④ インナーピース（内なる平和）について理解する <b>【フィールドワーク】</b> ・神戸市内の諸宗教施設を歩く <b>【講師】</b> ・山本俊正（関西学院大学教授） ・松井ケティ（清泉女子大学教授）
2	7月 11日(土)～ 12日(日) 場所：東京	<b>「心をむける」</b> 目的：自分に向き合い、他者に心をむける 目標： ① 心に寄り添うとはどういうことかを考える

		<p>② 「感じる」ことに目をむけ、自己の内面を見つめる</p> <p><b>【講師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井ケティ（清泉女子大学教授）</li> <li>・山本俊正（関西学院大学教授）</li> <li>・キャロル・サック（アメリカ福音ルーテル教会宣教師、ハープ奏者）</li> <li>・柳田敏洋（イエズス会司祭）</li> </ul> <p><b>【フィールドワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修道院（黙想）でのキリスト教的ヴィパッサナー瞑想</li> </ul>
3	<p>11月 22日（土）～ 23日（日） 場所：大阪</p>	<p><b>「見方を変える」</b></p> <p>目的：多角的に物事を見て、関係性の中で問題を捉える</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①修復的正義の概念について知る</li> <li>②修復的正義の具体的な実践を学び、身近な場所で自分ができるかを考える</li> </ol> <p><b>【講師（予定）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井ケティ（清泉女子大学教授）</li> <li>・教誨師（刑務所で受刑者と関わっている方）</li> </ul> <p><b>【フィールドワーク（予定）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市西成区釜ヶ崎地域</li> </ul>
4	<p>2021年 2月 13日（土）～ 14日（日） 場所：東京</p>	<p><b>「流れをつくる」</b></p> <p>目的：プログラムを策定し実施するための手段・方策を学び、実践する</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ワークショップの立案を行う</li> <li>②ワークショップのファシリテーションを実践する</li> </ol> <p><b>【講師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井ケティ（清泉女子大学教授）</li> </ul>
2021年度		
5	<p>5月 場所：東京</p>	<p><b>「他者をうけいれる」</b></p> <p>目的：和解や調停のスキルを身に付ける</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①調停の概念と調停者としての基礎を学ぶ</li> <li>②シミュレーションを通して紛争や対立を体験する</li> </ol> <p><b>【講師（予定）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井ケティ（清泉女子大学教授）</li> <li>・ミンダナオ・ピースビルディング・インスティテュート</li> </ul>

		(MPI) より講師招聘など
6	7月 場所：水俣 ※2泊3日	<p>「つながる／つなげる」</p> <p>目的：コミュニティの対立について学び、つながりをもたらすプロセスを担う</p> <p>目標：</p> <p>① コミュニティの対立、分断、赦しと和解について学び、自分ならどのように行動できるかを考える</p> <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石原明子（熊本大学准教授）他</li> </ul> <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市内（水俣病資料館、チッソ工場等）</li> </ul>
7	9月 場所：韓国 ※3泊4日	<p>「外へふみだす」</p> <p>目的：市民の力と和解の取り組みを現場で学び、諸宗教で取り組む意義と役割を考える</p> <p>【講師（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国宗教時平和会議（KCRP）</li> <li>・NARPI</li> </ul> <p>【フィールドワーク（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の取り組み（ロウソク広場、統一展望台など）</li> </ul>
8	11月 場所：東京	<p>「私がうごく、和解がうまれる」</p> <p>目標：</p> <p>① MYアクションプランを完成する</p> <p>② MYアクションプランを実践し、今後のファシリテーションに活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了式</li> </ul> <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松井ケティ（清泉女子大学教授）</li> </ul>